

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 **新**クラウドファンディング活用支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部商業・金融課資金融資係

電話番号：058-272-1111 (内 3063) E-mail：c11363@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 3,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,000 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

クラウドファンディングの活用は、資金調達の幅を広げるだけでなく、新規事業の広告・PR やテストマーケティングの手段にも有効な手法となっている。

このような中、創業やソーシャルビジネス等への挑戦を促進するため、入門者向けセミナー・相談会による支援を行う。

(2) 事業内容

年2回程度、対面方式と併せてオンラインにより開催する。

《対象者》

・新商品開発向けやソーシャルビジネス向けなど、クラウドファンディングに関心のある方

(創業を目指す方、新事業の立ち上げを検討している方など)

《概 要》

○クラウドファンディング活用セミナーの開催

・代表的なクラウドファンディング事業者によるクラウドファンディングの解説

・クラウドファンディングを活用した事業者による事例紹介

○セミナー後の個別相談会の開催

(3) 県負担・補助率の考え方

新産業・新サービスの創出、新たな地域経済の担い手の創出は県経済の振興につながるものであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

・なし

3 事業費の積算内訳（単位：千円）

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|----------------------|
| 委託費 | 2,950 | 業務委託料 2,950 千円 |
| 事務費 | | 執行団体のプロポーザル選定に係る事務費 |
| 報償費 | 32 | 選定委員 謝金 32 千円 |
| 旅費 | 11 | 選定委員 費用弁償 11 千円 |
| 需用費 | 4 | 消耗品 3 千円 会議費 1 千円 |
| 役務費 | 3 | 通品運搬費 3 千円 |
| 合計 | 3,000 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

一部自治体において、クラウドファンディング活用促進を目的としたセミナー等を実施している。（例；東京都）

(2) 事業主体及びその妥当性

執行団体を公募のうえ選定する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

| |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
クラウドファンディングの活用に関するセミナー等により、創業やソーシャルビジネス等への挑戦を促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | 目標(R3) | 目標(終期) | 達成率 |
|----------|-------|--------|--------|-----|
| セミナー等参加者 | | 40人 | 40人 | % |

○指標を設定することができない場合の理由

| |
|--|
| |
|--|

（前年度の取組）

| |
|--|
| |
|--|

（前年度の成果）

| |
|--|
| |
|--|

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い | |
| (評価) ○ | クラウドファンディングの活用は、資金調達の幅を広げるだけでなく、新規事業の広告・PR やテストマーケティングの手段にも有効な手法となっていることから、その活用を支援するセミナー・相談会の機会を設けることは、創業やソーシャルビジネス等への挑戦の促進につなげることができる。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない | |
| (評価) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 創業や新事業立ち上げの時のクラウドファンディングに関するニーズの把握とともに、今後の事業見直しが必要。 |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 創業や新事業立ち上げの時のクラウドファンディングに関するニーズの把握とともに、今後の事業見直しが必要。 |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 | |
| 組み合わせる理由や期待する効果 など | 【○○課】 |